

# まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.62 平成30年9月11日発行

## 歴まち計画認定都市の事例紹介

### ～福岡県太宰府市～

今回は、歴まち計画（※）認定都市である太宰府市（福岡県）について紹介します。

#### ◆太宰府市の概要

太宰府市は、福岡県の中中部、福岡市から南東約16km（電車で約30分）の場所に位置しています。

1350年前、九州統括と東アジア世界への玄関口として置かれた太宰府（おおみこもちのつかさ）に端を発し、その後、文道の神・菅原道真公を祀る太宰府天満宮を参る「さいふまいり」と遊山によって賑わうまちとして現在に至っています。

2010年11月に歴まち計画の認定を受けました（18番目の認定都市）。



#### ◆歴史的風致の維持及び向上に関する方針

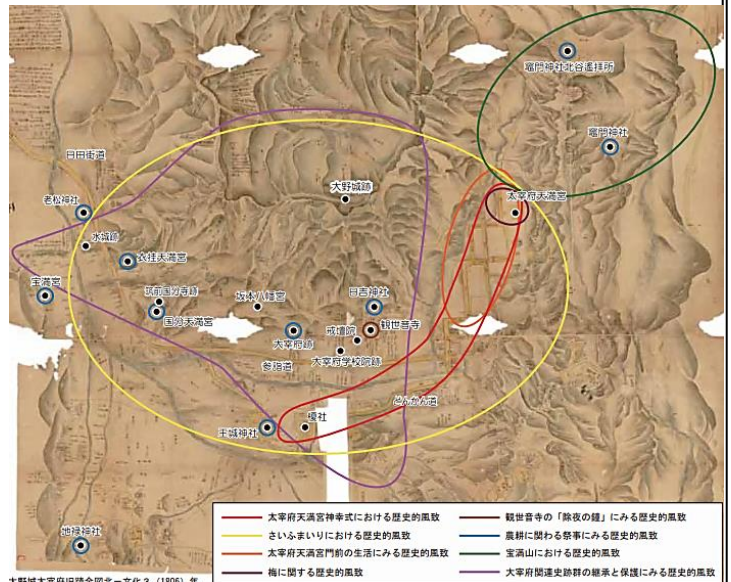
太宰府市では、維持向上すべき歴史的風致を下図のように定めております。

#### ◆歴史的風致の維持及び

##### 向上に関する方針

- ・歴史的風致を構成する建造物の保存と活用の推進
- ・歴史的風致を活用したまちづくりの推進
- ・歴史と伝統を反映した人々の活動への支援
- ・歴史的風致の認識を高める取り組みの推進
- ・市民活動と連動した環境整備、施設整備

なお、計画についての詳細は、太宰府市のHP（<http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/hisei/keikaku/1/4471.html>）をご参照ください。



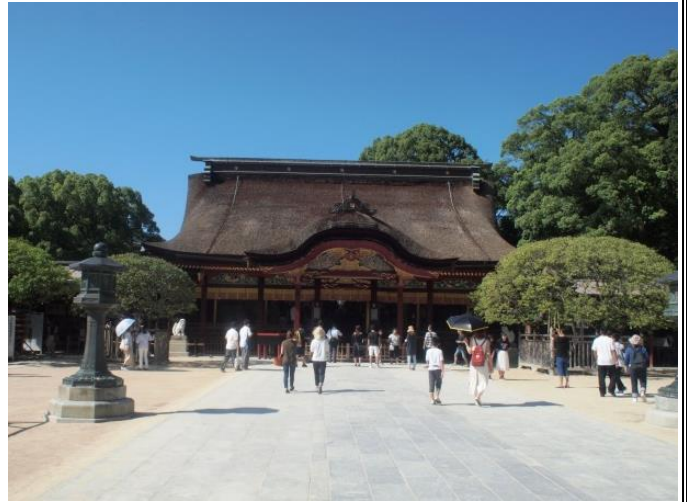
#### ※歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）

歴史上価値の高い建造物・その周辺のまちなみと、歴史と伝統を反映した人々の営み、生活、活動が一体となった「歴史的風致」を後世に継承するため、2008年に「歴史まちづくり法」が制定されました。

「歴史まちづくり法」では、国指定・選定文化財を中心とする歴史的風致の維持及び向上について市町村が作成した歴史的風致維持向上計画（以下「歴まち計画」）を国（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定し、取り組みを支援する仕組みとなっています。2018年8月現在、計画の認定都市数は68都市となっています。

ちなみに、福島県では白河市（2011年2月）、国見町（2015年2月）、警梯町（2016年1月）、桑折町（2016年3月）の4都市が認定を受けております。

## ◆太宰府天満宮



学問の神・菅原道真を祀っています。901年右大臣から突然大宰府に流された道真は2年後、この地で亡くなりました。その墓の上に建てられたのが天満宮で、現在の本殿（重要文化財）は1591年（天正19年）の建築です。

広い境内には梅・クス・花しょうぶなど四季折々美しく、正月のうそ替え、鬼すべ、春の曲水の宴、秋の神幸式など古い歴史をしのばせる祭があります。



左写真は太宰府天満宮入り口の近くにある休憩処『甘木屋』です。古風な木造3階建て、明治中期に建てられました。「歴史的風致形成建造物」に指定されています。

「太宰府市歴史的風致維持向上計画」では、このような歴史的建造物について、修理を行う事業も行うこととされています。

## ◆観世音寺（国指定史跡 観世音寺境内および子院跡）



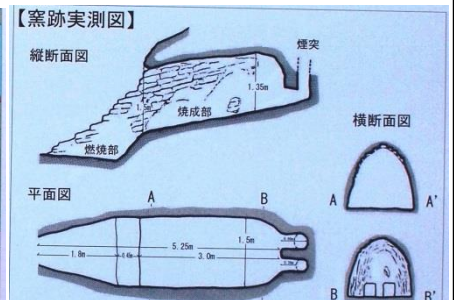
『源氏物語』にも登場する観世音寺は、齊明天皇追悼のために天智天皇の発願によって建てられた寺であり、奈良時代に完成しました。僧尼に戒を授ける戒壇が設置されており、奈良の東大寺・下野（栃木県）の薬師寺と並んで日本三戒壇の一つに数えられています。

## ◆大宰府政庁跡（特別史跡）



現在も大宰府政庁跡の中心にはその大きさをしのばせる立派な礎石が残り、そこを中心  
に門や回廊、そして周辺の役所跡が復原され、公園となっています。

## ◆国分瓦窯跡（国指定史跡）



大宰府政庁・国分寺・観世音寺等の瓦を焼いた窯です。窯はスサ入り煉瓦状粘土で作ら  
れた地下式有階無段登窯で、高さ1.5m、間口1.5m、奥行5.5mを測ります。  
現在地下に2基保存されています。

## ◆筑前国分寺跡（国指定史跡）



市の北西、四王寺山のふもとにあります。奈良時代、聖武天皇は全国に国分寺・  
国分尼寺を建て、その中心として奈良の都  
に東大寺を建てて大仏をつくり、仏に守ら  
れた豊かな国をつくろうとしました。  
筑前国分寺もその一つです。

### 👁️「だざいふ」の表記について

歴史上の役所は『大宰府』、行政上の地名等については『太宰府』と書くことが慣用化さ  
れつつあるようです。

- 例) 大▶大宰府跡、大宰府歴史館、大宰府政庁跡など  
太▶太宰府市、太宰府天満宮、太宰府駅など



今回は、【太宰府天満宮】～【観世音寺】～【大宰府政庁跡】～【国分瓦窯跡】～【筑前国分寺跡】のコースを徒歩で巡りました。所要時間は3時間程度でした。

紹介したもの以外にも歴史的な史跡などがたくさんあり、歩きながらも十分満喫することができます。

また、まちなかの至る所に案内板が設置されており、初めて訪れた人でも地図無しで迷わず巡ることができました。

皆さんも機会があれば是非訪れてみてはいかがでしょうか。



◀▲設置されている案内板

# TOPICS

## ○コンパクトなまちづくり推進協議会が設立しました

我が国の都市における今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが、大きな課題となっています。

こうした中、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、コンパクトなまちづくりを進めていくことが重要です。このため、より一層効果的なコンパクトなまちづくりの実現に向け、

- ① 情報交換・共有を通じて計画・事業の先行都市はさらに先進的な取り組みを検討すること。
- ② 計画・事業案策定中の都市は先行都市の取り組み状況の情報を交換・共有し効果的な計画・事業を検討すること。
- ③ 国土交通省や各施策分野の専門家との意見交換等を実施し効果的な施策を検討すること。
- ④ 効果的な計画の策定・事業の実施に向けた政策提言をおこなうこと

を目的として、コンパクトなまちづくり推進協議会が設立され、平成30年6月29日に設立総会が東京都港区で開催されました。



### 土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方  
【土木部メルマガ希望または、解除】



をお書きのうえ下記アドレスまで  
メール送信して下さい。

[doboku\\_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp](mailto:doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp)

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】  
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.lg.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.lg.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>